

# 平成27年度事業報告

## 事業の概要

公益財団法人廃棄物・3R研究財団においては、廃棄物の適正処理推進による公衆衛生の向上や3R活動推進による地球環境の保全に資するため、国や自治体などからの受託費等による廃棄物・3Rに係る調査研究事業の実施及び廃棄物・3R関連企業の処理技術の開発支援等の公益目的事業を実施している。

平成27年度は、前年度に引き続き、東日本大震災からの教訓を十分踏まえて、災害に強い廃棄物処理システムの構築に向けた調査研究事業等を積極的に実施した。

## I 廃棄物・3Rに係る調査研究事業（公1）

### 1. 受託等事業（環境省）

#### （1）災害廃棄物処理に係る人材育成事業

災害廃棄物分野における人材育成の現状把握と課題抽出、災害廃棄物対策に係る人材に必要な技能知識の明確化と研修の試行、関連ワーキンググループ（環境省設置）での検討に資する資料作成等を行った。（東芝デジタルフロンティア（株）の協力を得て実施。）

#### （2）大規模災害時における関東地域ブロックでの広域的な災害廃棄物対策に関する調査検討業務（関東地方環境事務所）

大規模災害時廃棄物対策関東地域ブロック協議会及びその分科会の開催運営事務、災害廃棄物処理計画策定セミナー等の開催等を行った。（（株）廃棄物工学研究所の協力を得て実施。）

#### （3）3R推進企画運營業務

環境省が実施する「3R推進全国大会」、「3R促進ポスターコンクール」、「環境にやさしい買い物キャンペーン」、「3R推進セミナー」等の企画、準備、運営等を行った。（（株）ダイナックス都市環境研究所及び3R活動推進フォーラムの協力を得て実施。）

#### （4）海面最終処分場の形質変更方法検討業務

海面最終処分場の土地の形質変更に係る課題の整理（制度面・技術面）、大規模災害時の海面処分場の活用方法等の検討、海面最終処分場の廃止に向けた基本的考え方の検討等を行った。（八千代エンジニアリング（株）及び（株）廃棄物工学研究所の協力を得て実施。）

#### （5）廃棄物分野における低炭素化促進事業技術審査委員会の運營業務

廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業等に係る技術的内容に関する審議を行う技術審査委員会の運営及び論点整理等を行った。

#### （6）省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業

リサイクルプロセス全体のエネルギー起源CO<sub>2</sub>の排出抑制及び再生資源の回収効率の向上を図るための設備の導入を促進するための間接補助事業を行った。

## (7) その他

「市町村等による廃棄物処理施設整備の適正化推進業務」、「アジア太平洋 3 R 白書」作成に係る基礎調査業務、「廃棄物発電の高度化支援事業委託業務」及び「廃棄物埋立処分場等への太陽光発電導入実現可能性調査」について、調査検討事項の一部を実施した。(それぞれ(株)三菱総合研究所、(公財)地球環境戦略研究機関、(一社)日本環境衛生センター及び国際航業(株)を代表者として共同で実施。)

## 2. 受託等事業（環境省以外）

### (1) 災害廃棄物分野における人材育成システム構築に関する基礎調査業務（国立研究開発法人国立環境研究所）

自治体職員を対象とした研修プログラムの設計、参加型研修コンテンツの開発、情報プラットフォームの管理運営手法の検討等を行った。(平成26年度及び27年度の2か年度業務。)(東芝デジタルフロンティア(株)の協力を得て実施。)

### (2) 高齢者のごみ出し支援制度に関する全国実態調査支援業務（国立研究開発法人国立環境研究所）

全国市町村で設けている高齢者のごみ出し支援制度等を把握するためのアンケート調査の支援(調査票の送付、回収、集計)を行った。

### (3) 環境保全対策調査（大阪湾広域臨海環境整備センター）

新たな処分場建設に係る予備的検討、尼崎沖・泉大津沖処分場に係る保有水 pH 対策の検討、各処分場における微生物調査等のほか、環境保全対策調査委員会の運営を行った。(国立環境研究所、九州大学、室蘭工業大学、明星大学、中央開発(株)、(株)エックス都市研究所、日下部建設(株)の協力を得て実施。)

### (4) 廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究費助成制度運営業務（大阪湾広域臨海環境整備センター）

廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究費助成制度の制度設計補助、申請受付、審査委員会の運営、成果発表会の開催等を行った。

### (5) 容器包装の 3 R に関する市民・自治体・事業者等との意見交換会開催業務（3 R 推進団体連絡会）

行政機関のみならず事業者、地域住民、NPO 等多様な主体が一堂に会して情報交換を行う場として「容器包装交流セミナー」を開催した。

## (6) その他

国土交通省の「管理型海面処分場の早期安定化及び利用高度化技術検討事業」について、調査検討事項の一部を実施した。((一財)みなと総合研究財団を代表者として共同で実施。)

## 3. 自主事業

### (1) 3 R 活動推進フォーラム支援事業

財団内に事務局を置く 3 R 活動推進フォーラムの業務が円滑に行われるよう、事

業への後援等サポート業務を実施した。

(2) 廃棄物・3Rブレークスルー促進事業※(機械的・生物的处理の普及可能性調査)

機械的・生物的处理(MBT: Mechanical Biological Treatment)の普及可能性に関する調査を実施した。

※ 廃棄物・3Rブレークスルー促進事業

財団及び3R活動推進フォーラムの会員並びに大学等研究機関からの依頼に応じて、当該廃棄物・3R技術に関する技術面、経済面、社会面の観点からの総合的な診断や適用可能性、導入促進方策等の提示を行うとともにその事業成果を広く公表するもの。

【参考】受託等事業の一環として実施したセミナー等

期 日	開催場所	名 称	参加者
H27.7.22	大阪市：天満研修センター	「大阪湾圏域における廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究助成事業」成果発表会	83名
H27.7.28	静岡市：静岡県コンベンションアーツセンター	容器包装交流セミナーin静岡 ～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～	37名
H27.10.9	福井市：福井市地域交流プラザ	容器包装交流セミナーin福井 ～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～	37名
H27.10.26	東京都墨田区：廃棄物・3R研究財団	災害廃棄物処理計画作成支援ワークショップ	23名
H27.10.30	東京都墨田区：国際ファッションセンター	循環・3Rシンポジウム ～食品ロス・食品リサイクルの最新動向と各主体間の連携を考える～	78名
H27.11.21	福井市：福井県生活学習館	3R推進全国大会	380名
H28.1.15	北九州市：北九州国際会議場	循環・3Rシンポジウム ～食品ロス・食品リサイクルの最新動向と各主体間の連携を考える～	90名
H28.1.26	尼崎市：総合文化センター	循環・3Rシンポジウム ～食品ロス・食品リサイクル等3Rの最新動向を考える～	60名
H28.1.28	さいたま市：ホテルブリランテ武蔵野	容器包装交流セミナーinさいたま ～容器包装の3Rに関する市民・自治体・事業者との意見交換会～	58名
H28.2.8	盛岡市：盛岡地域交流センター	循環・3R推進セミナー ～信頼と連携で実現する3Rの輪～	74名
H28.2.18	東京都墨田区：両国YAビル	災害報告書作成セミナー	67名
H28.2.19	徳島市：アスティとくしま	循環・3Rシンポジウム ～食品ロス・消費生活の中での3Rを考える～	50名
H28.3.7	東京都千代田区：日本教育会館	災害廃棄物対策セミナー	96名

## Ⅱ 廃棄物・3Rに係る調査研究の成果の普及啓発事業（公2）

### 1. 書籍（ブック財団）の発刊事業

自主事業（ブレークスルー促進事業）として実施した MBT 関係の調査の成果を取りまとめた冊子を作成した。

### 2. セミナー等の開催事業

財団における廃棄物・3Rに係る調査・研究の成果を幅広く周知するため、年次報告会（下表参照）を開催するとともに、関係団体等におけるセミナー等の開催を支援するため、共催・後援等も積極的に実施した。

期 日	開催場所	名 称	参加者
平成 27 年 9 月 10 日	東京都墨田区（江戸東 京博物館）	廃棄物・3R 研究財団& 3R 活動推 進フォーラム年次報告会	76 名

### 3. インターネットによる情報提供事業

廃棄物・3Rに関する財団の取組に加え、国、地方公共団体、企業、NPO等の最新情報を取りまとめたメルマガ「3R・廃棄物ニュース」を月に3回程度、毎回約6,000の受信先に配信した。

### 4. 資料・パンフレット等作成・配布

廃棄物・3Rに関する財団の取組等の情報を分かりやすく取りまとめた資料やパンフレットを各セミナー等で配布した。

### 5. 報道機関への情報提供・取材協力

廃棄物・3Rに関わりの深い報道機関と連携し、情報提供・取材協力を通じて広く普及に努めた。